杉並区杉並第一小学校移転改築への要望

2024年6月18日

阿佐ヶ谷駅北東地区エリアマネジメント推進懇談会

杉並区教育委員会教育長
渋谷　正宏　殿

杉並第一小学校移転改築への要望

2024 年　6月 18 日

阿佐ヶ谷駅北東地区エリアマネジメント推進懇談会

日頃は阿佐ヶ谷駅北東地区のまちづくりにご協力いただき、ありがたく御礼申し上げます。
当会は、阿佐ヶ谷駅北東地区を「住み続けたい、魅力あるまち」としていくために、公民連携のまちづくりを進めるための協議や、エリアマネジメントによるまちづくりの事業展開を目指して、地域が主体となったまちづくりの活動に取り組むことを目的として活動を行っています。
この度、杉並第一小学校移転改築の設計や整備にあたりまして、「阿佐ヶ谷駅北東地区まちづくり計画（以下、「まちづくり計画」という）」におけるまちづくりの目標である「災害に強い安全・安心なまち／にぎわいや利便性が高まり、来街者が集う街／歴史と文化が調和したみどり豊かなまち」の実現に向けて、共に連携することにより、より一層効果的な整備が行われるよう、ご協力いただきたく、当会から以下の事項について要望いたします。

1,「災害に強い安全・安心なまち」の実現に向けて

災害には、地震、風水害、降灰（富士山噴火）、雷など自然災害に加え、新型感染症の流行、大気汚染や土壌汚染など多様な事態があります。最も危険で緊急性がある、震災時の対応を中心に要望いたします。
本地区およびその周辺は、「東京都防災都市づくり推進計画（改訂）（平成 28 年３月）」において、震災時に特に甚大な被害が想定される整備地域（阿佐谷・高円寺周辺地域）に指定されています。地区計画と土地区画整理事業により、防災主要生活道路整備事業と区画整理事業で整備される道路により、消防活動困難区域が解消される区域が広がり、震災に対して安全な建物が建設されることで、防災上安全な地区が形成されます。
しかし、環状 7 号道路西側の高円寺から続く木造密集地域は、火災の延焼する危険が大きく、都市大火となった場合の延焼遮断帯機能がないことから、防災対策としては、初期消火により、火災を起こさないことが、重要と考えられています。
発災時に、杉並第一小学校が、災害拠点連携病院である河北総合病院や、Ａ 街区に建てられる施設と一体となって、阿佐ヶ谷駅北東地区の「防災活動拠点」となり、できるだけ有効に災害に対応することが可能となるよう、以下のとおり要望します。

①　「防災活動拠点」としての配慮
・堅固な不燃化の構造とし、免震構造も含めた耐震性の確保をしてほしい。
・消防水利の確保のため、防火水槽やプールの水を活用できるよう整備してほしい。

・延焼を和らげるような植栽整備をしてほしい。

② 本地区の周辺地域は、木造密集地域であり道路基盤が未整備なことから、発災時には、初期消火が最も重要な対策と考えられています。地区内の消防団と区民が連携して、消火活動が円滑に行えるように配慮された学校施設づくりと日常時の訓練が行えるような配慮をお願いします。

・消防団や地域住民が使用する器具等を備蓄するための「地域防災倉庫」設置により、スタンドパイプ・消火ポンプ等の備品が置かれ、夜間や休日の発災を想定し、道路に面した箇所に設置してほしい。

・円滑な防災活動のため、緊急車両と人の出入り口を分けて計画してほしい。

・校庭は、避難場所としての活用や防災活動が行いやすい材質としてほしい。

③ 杉並区地域防災計画に定める「震災救援所」として円滑に機能できるような機能確保

・災害時の水源の確保（事例：蚕糸の森公園に設置）

・防災備蓄倉庫の設置

・非常時使用可能な電源の確保

・マンホールトイレおよび防災井戸の設置

・屋外排水設備の耐震化

④ 非常時には、学校と総合病院と A 街区施設、また阿佐谷地域区民センターとが、連携して非常事態に対処できるように、有効な活動がどうあるべきか検討を重ね、協定を交わすなど施設間が連携した動きが可能なよう、共に検討してください。

⑤ 防災公園でもある、馬橋公園と馬橋小学校との非常時の活動の連携のあり方の検討

２,「歴史と文化が調和したみどり豊かなまち」の実現に向けて

現在、総合病院の建設工事が進行中ですが、今後は学校建設、A 街区の整備と当該地域において一連の工事が進行していきます。阿佐ヶ谷駅北東地区における歴史と文化を継承し、より一層調和したものとしていくため、景観や緑化について以下の要望をいたします。

① 沿道緑化について

まちづくり計画において、総合病院や小学校の移転改築等を契機とした新たなみどりのネットワークの創出が方針として定まっています。地区計画でも沿道緑化、緑被率が定められています。

・区画道路 1 号線沿いでは、中杉通りとの緑のネットワークに配慮したいと考えています。中杉通りに近い A 街区では、欅の高木を植樹し、東側にいくに従いシラカシも混植し、武蔵野の屋敷林の面影を沿道に作り出したいと考えていますので、その

ような高木による植栽計画をお考えください。

・区画道路３号線沿いは、柔らかな曲線道路に沿って、病院側は花の咲く樹木などの植栽を予定しています、学校側においても花の咲く、楽しさを感じるような植栽を考えていただくようお願いいたします。

・区画道路４号線・５号線の沿道緑化については、周辺街区からの火災に対して、延焼しにくい樹木を選定してください。

② 屋上緑化等について

・緑化による蒸散作用や遮熱作用により、地域として温暖化対策を図りたいため、屋上の緑化を可能な限り行ってください。

③ 緑地について

・Ｂ街区の緑地１については、樹木の根や土への影響を考慮し、常時の人の立ち入りが難しいため、例えば杉並第一小学校の児童の学習に供することなどを検討していますので、児童の自然環境の学習などに活用を考えてください。

④ 外構などの統一した整備計画

・地域でのまとまりある景観の形成のため、歩道状空地の舗装や側溝・縁石のつくり方を他の街区と同様な仕様としてください。

・歩道状空地などは、児童の通学や病院への通院に用いることから、バリアフリーやユニバーサルデザインについ配慮してください。

・区画道路５号線沿いは、歩道状空地の設置が、地区計画決定当時の諸事情で、定められていません。が、歩行者の安全確保等の観点から、歩道状空地の整備を希望します。歩いて楽しくなるような明るい植樹、植栽も併せてお願いします。

３,「にぎわいや利便性が高まり、来街者が集う街」の実現に向けて

阿佐ヶ谷駅から至近の距離にある本地区において、人々が安全かつ快適に歩いて移動できるウォーカブルなまちづくりを実現したいと考えています。そのため、当会では、区画道路８号線は、古道であることからも、車はあまり通らない、人優先の散歩道を検討中です。また、街中にポケットパークのような小さな休憩場所を設置していくことも検討しています。例えば、緑地１の南西角に、開放を考えた「石積み緑地」の計画（当地区内で使用されていた川石を使用した歴史を感じられる設え）、新進会商店街東端の角地に「写真や歴史的資料を保存展示する施設」などを予定しています。そのため、学校においても以下のような配慮を要望します。

また、あわせて地域のつながりを醸成するような１つの核とするため、学校施設の地域利用についても要望いたします。

① 誰もが歩きやすくなるような環境整備

・正門・入口がどこに設置されるかにもよりますが、校門前に小さな広場があり、休憩できる簡単なベンチなどがある木蔭の設置を望みます。小さな広場により、生徒の出入り時の安全確保にも繋がると考えます。

・当会では、QR コードを使った、地域の歴史やまちづくりに触れることのできる情報提供を行い、歩いて楽しい街づくりを行う予定です。学校または教育委員会で所有する地域の歴史に関する情報提供への協力をお願いします。

② 阿佐谷ジャズストリートは阿佐谷のまち全体を会場にして約 30 年続くイベントです。当地区内には、大きなコンサート会場がないことや、杉並第一小学校はブラスバンドの活動も有名であることから、体育館でのイベントの想定や、運動場とも一体となって使える設えなどの考慮を希望します。

③ 歴史と伝統ある阿佐谷七夕祭りにおいて、飾り等に使用する竹林の植栽を希望します。また、あわせて学校に飾りつけもできるよう考慮をお願いします。

４，そのほか（環境への配慮）

当地区及び周辺では、樹木が多く、中杉通りと連続して、夏期には、地区内気温が、周辺よりも低いのが特徴です。また、建設が先行する総合病院については、急性期病院として都内初となる「ZEB　Oriented」の認証を取得するなど環境に配慮した計画としており、地域で連携して環境に配慮した施設建設を行い、より有効な環境対策を行っていきたいため、以下の項目について要望します。

① ZEB 化も含めたエコスクールの推進

・杉並区地球温暖化対策実行計画に基づく ZEB 化等の取組を検討してください

・蒸散作用により、気温を下げるような植栽計画・屋上緑化・壁面緑化などを設置してください。

② 校舎の内装木質化

・欅屋敷内にあった樹木（木材）について福島県会津に貯木し、寄贈の予定があるため、それらを使い、地産地消と環境教育の推進、児童の心身健全にも効果的な校舎の内装木質化を行ってください。